

## 委員会レポート 環境福祉委員会

**幸せな社会の実現を目指して**

当委員会は、いわゆる「ゆりかごから墓場まで」広範囲にわたって担当しています。

役場の管掌で言えば、住民課・福祉課・保健環境課にあたり、予算・その他の議案・陳情等を審査しています。

わが町は、「共生のまちづくり事業」で福祉のまちづくりを目指しています。

「亀のパン」「ほたるの湯」「つくしんぼ」等々社会福祉協議会に委託して事業を進めています。更に精神障害者に対する支援づくりを検討しています。

また、介護予防給付サービスについて、今年度中にケアプランを策定し、来年度から計画がスタートします。

当委員会としての切なる願いは、健康で長寿・住み良い環境・ノーマラ

## 幸せな社会の実現を目指して

イゼーション（障害者や高齢者などのハンディキャップのある人もない人も地域社会の中で共に暮らせるような社会が通常であるという考え方）の理念に基づいた福祉活動を推進していくことです。

町民の皆様にも「何をしてもらえるか」から「何ができるか」を考え、そのエネルギーを必要の人に贈るといふ素晴らしい発想をしていただき、幸せな社会の実現に向けて共に活動していきたいと思っております。

委員長 御手洗 寿乃

環境福祉委員会

写真右より

森 勝己 委員  
百田 善廣 副委員長  
御手洗 寿乃 委員長  
三上 政義 委員

## 審査

平成十五年度、福祉工房「亀のパン」を設立、昨年度からは精神障害支援について学習会に取り組み、障害者支援事業として展開しています。就労支援の主旨・目標は、

**問** 知的障害者が地域社会の一員として、就労の機会を得て社会的自立の支援を行うことです。また、美味しいパンを提供することにより経済

**答** 吉松 福祉課長

自立の支援を行います。さらには、労働を提供し賃金を得ることにより、社会参加の場を確立することなど障害者・健常者の隔たりを取り除き、支援体制の確立および施策を講じ、積極的な社会参加の促進を目標としています。

**問** 新年度予算にボイスコール借上料とあるが、何に使用するのか。

**答** 安部 住民課長

住民課窓口で使用します。番号整理券を配布、順番をボイスコールでお知らせし、一日平均百件から百二十件の窓口業務をスムーズに行えるようになります。

**問** 旧ごみ焼却場の解体工事の予定は。

**答** 萩 保健環境課長

今年度、ダイオキシン類事前調査を行い、解体工事に伴う設計業務を委

託し、平成十八年度に解体工事を実施する予定です。

## 視察研修

志免町に創設の医療法人緑風会を視察し、精神障害者の支援についての研修を行いました。

病院・生活訓練施設（援護寮）・居宅介護支援センター（ホームヘルプサービス）・地域生活支援センターなどを訪問しましたが、利用者が初めて顔を合わせたのに、とても明るい表情で迎えてくれました。

一方、病院・施設スタッフのご苦労も大変なものだと実感しました。

今後、社会保障の充実も大切ですが一人ひとりが身近なできることから支援しなければいけないの思いで、社会福祉の増進と支援体制の確立に気持ちを新たに視察を終えました。

報告者 森 勝己委員

## 議員表彰



本定例会の最終日に議場において、議員表彰の伝達式が行われました。

全国町村議会議長会 表彰十五年  
福岡県町村議会議長会 表彰十五年

豊永 主 議員  
豊永議員は、現在総務文教委員会委員の要職に就かれています。

多年にわたり、町村議会議員として自治進行発展に貢献されたための表彰です。

今後、経験を活かされて夢のあめ「町づくり」「地域づくり」に「尽力」いただきたいと思います。

# 閉会中の組合議会報告

議員は、須恵町の議会中（年四回開催される定例会と必要に応じて開催される臨時会）以外でも、一部事務組合議員、特別委員会の委員として活動しており、三月定例会（初日）にその報告がありました。

須恵町外二ヶ町清掃施設組合議会  
(二月十六日)



篠栗町長選挙において三浦町長が就任されたことにより、組合議会規約に基づき互選を行い、組合長に須恵町中嶋町長、副組合長に篠栗町三浦町長が就任され、また組合議会収入役には、須恵町稲永収入役が就任されました。

RDF施設において約三万六千二百トンの燃えるごみを処理し、大牟田リサイクル発電所へ約二万六千トンの固形燃料を搬出しています。

リサイクルプラザにおいては、約二千二百トンを処理し、約六百三十トンをリサイクル品として搬出しています。

平成十七年度当初予算については、総額二十五億四千七百五十三万円で前年度と比較して率にして八・七％、金額で二億四百二十万円の増額となります。

全議案、全員賛成で可決されました。

(報告 稲永信英議員)

粕屋南部消防組合議会  
(二月二十八日)



平成十七年度当初予算については、総額一十八億六千三百八十四万円で前年度と比較して率にして五三・七％、金額で十億四百万円の増額となります。

庁舎建設費が十四億三千八百二十六万円で約半分を占めていて、残りを前年度と比較すると約四億円の減額となります。

休日診療所特別会計については、総額三千三百九十四万円で、前年度と比較して率にし約十五％、金額で約六百万円の減額となります。

庁舎工事については、平成十八年三月竣工予定で、現在コンクリート打設工事が行われています。



(報告 百田 善廣議員)

全議案、全員賛成で可決されました。

北筑衛生施設組合定例会  
議会(二月二十一日)  
臨時議会  
(三月一日)

平成十七年度当初予算については、総額四億三千三百四十四万円で、前年度と比較して率にして五三・七％、金額で十億四百万円の増額となります。

本組合の組織する旧福岡町及び旧津屋崎町の合併に伴い、副議長の指名選挙が行われ、福津市の谷口氏が指名され、副議長に選任されました。

全議案、全員賛成で可決されました。